

今年6月から

# 警戒レベル4で全員避難

“「避難勧告」や「避難指示」、それに「大雨特別警報」など、防災情報はいろいろあるけど、いつ避難すればいいのだろう…”

皆さんもそのような疑問を持ったことはありませんか？

そのような声を受けて、今年6月から「警戒レベル」を用いた避難情報が発令されるようになりました。

警戒レベル3、4が発令された場合は、地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に避難してください。

before (変更前)

危機の度合いが不明瞭…

市町村が出す  
避難情報

国や県が出す  
防災気象  
情報

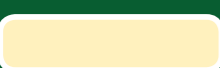
5 警戒レベル  
段階に整理

after (変更後)



警戒レベル

警戒レベル  
1



防災行動

災害への心構えを。

防災情報

早期注意情報

警戒レベル  
2



ハザードマップなどで、  
自らの避難行動を確認。

大雨注意報  
洪水注意報 など

警戒レベル  
3



避難！  
高齢者等は

高齢者や乳幼児など避難に  
時間を要する人とその支援者は  
準備を。

避難準備  
高齢者等避難開始

警戒レベル  
4

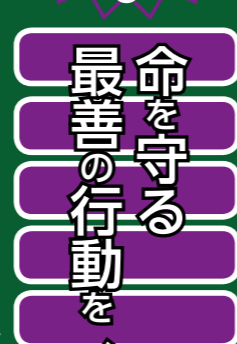


全員避難！

速やかに全員が避難先に  
避難しましょう。

避難勧告  
避難指示 (緊急)

警戒レベル  
5



命を守る  
最善の行動を！

既に災害が発生しています。  
命を守る最善の行動を  
とりましょう。

災害発生情報

警戒レベルを発表する場合は、

みるメールや広報車を使って次のように避難行動を呼びかけます。

「○○地区に警戒レベル4 避難勧告を発令します。住民は直ちに身の安全を確保し、避難行動を開始してください。○○に避難所を開設しますので、自主防災会や警察官、消防団員等の指示に従い、安全に避難してください。」

他にも、市ホームページやSNS (ツイッター・フェイスブック)、携帯電話会社の緊急速報メール、ケーブルテレビなどでも呼びかけを行います。

ご注意!!

状況が急変した場合などは、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。気象情報なども参考にしながら、自らの命は自ら守る意識を持って、適切な避難行動をとってください。

# 災害への備えは できていますか？

毎年のように全国各地で頻発している水害や土砂災害。一昔前までは聞きなれなかった「ゲリラ豪雨」という言葉も、今や当たり前のように耳にするものになりました。今回の特集では、いつ起こるか分からない災害への備えや対処を紹介します。



昨年、岡山県や広島県などの西日本を襲った「平成30年7月豪雨」。ここ数年、全国各地で水害や土砂災害が頻発しており、いつこの地域に起こってもおかしくありません。しかし、突発的な地震などに比べ、台風や豪雨による災害は、時間とともに危険が増すケースがほとんど。つまり、早い段階で対応をとれば、被害を減らすことができます。これまで大丈夫だったから、今回も大丈夫だろう。そのような過信によって対応が遅れ、命が奪われてしまうこともあります。被害を減らすには、一人一人が自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」、国や自治体などによる「公助」の連携が重要だと言われています。その中で最も基本となるのは「自助」。まずは人任せにはせず、自分の身は自分で守らなければいけません。そのためにも災害への知識を身に付け、水や食料を備えておく必要があるのです。また、自治体などが発する情報をきちんと入手し、危険へ適切に対処することも重要です。今年から、とるべき避難行動を分かりやすく整理した「警戒レベル」による防災情報の提供が始まりました。それらの知識もしっかりと身に付け、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。